

# みんゆう 随想

昨年が続いて利尻岳、幌尻岳、羊蹄山の3座を目標に、同業の安斎土地家屋調査士と10日間の山旅へ。装備と食料、着替えの準備も万端。少々重めのキャンパ―ですが、快適に仙台港を目指しました。

台風11号の心配は薄れ穏やかな出港となりました。早速、風呂に入り、山旅の無事と素晴らしい思い出となることを祈り、大ジョッキで乾杯。さらに栄養と体力づくりにはステーキ2枚、海の幸、野菜、果物など栄養タップリ豪華な食事を楽しましました。

## 渡辺 裕之

福島市・渡辺エンジニアリング  
代表取締役



ゆったりした船旅はロビ婦にお届け物を頼まれ、途中の豊富町に立ち寄りまして撮影し「これから登りに行士の話が弾みました。追った。品物を無事お渡しし、熊くからね」と心の中で登頂悼登山の話をする話題がと競争して収穫したという宣言をしました。

3・11になり、巨理町のおジダケの瓶詰をたくさん頂天氣良好、波穏やか、涼しばちゃん「私は買ったばい、人恋しそうな2人をおく快適な利尻島への船旅でかりの自転車が流された振り切るように牧場に別れの」「私は仙台空港で新車を告げました。

が流されたの」。そこで 信号のない直線道路で大

## 山に魅せられて(12)

「私の友達は飛行機を流さ幅に予定時間を縮めたのなや登山口へ急ぎました。

戻ってきた(勿論、福にしました。最北端の夜はしく管理人に話し掛けたら島市内に住む友人の佐藤亭人の心配がなく、樺太がよ

さんの実話)。く見える高台のスポットでしたよ」。私を覚えていた

苦小牧港から高速に入すっかり戸締まりをしましことに感激しました。こ

り、札幌経由で稚内へ向けたが、爆睡で気づ夜が明けで無人小屋泊まりに備え10

社内の大友さんから「40年 フェリーの時間まで余裕 負い、途中の甘露泉水で2

前、思い出の懐かしい老夫があり、ノシャップ岬を観 ・5日補給しました。